

2025 年 10 月 5 日

第 3 回秋山翔吾カップ(第 72 回横須賀市少年野球大会)

秋山翔吾カップ

出典:横須賀市ホームページより



9 月 27 日(土)~10 月 5(日)にかけて大会は横須賀スタジアムほか隣接する中学校や小学校のグラウンド他など 4 ヶ所で、昨年に比べ熱中症対策で 2 ヶ月ずらして開催されました。—昨年 70 回の節目の年に少年野球大会と児童ソフトボール大会を、市内出身のプロ野球広島東洋カープの秋山翔吾選手にちなみ、それぞれ「秋山翔吾カップ」として開催され、秋山選手からサポートの申し出を受けて実現しました。

市の魅力を発信する「横須賀盛り上げ大使」を務め、市内で小学生向けの野球教室を10年以上続けている秋山選手は、少子化などで競技人口が減少していることに危機感を持ち、衣替えを提案。優勝カップ、MVP 賞、秋山賞(最多安打)などを提供されました。

今年も学童(小学生)の部に 18(昨年+2)チーム、中等部(中学生)に 8(昨年-2)チームが参加して行われました。私は初日中等部の第三試合を観戦させていただきました。4 月 19 日(土)は秋山翔吾カップ・児童球技大会(ソフトボール)では私たちスポーツ推進委員協議会は主管でしたが、今回は横須賀野球協会が担当です。

この大会には、横須賀少年野球連盟、秋山翔吾を囲む会実行委員会、(株)FALLs-A、(一社)KAKEHASHI が協力、(公益)横須賀青年会議所、(株)神奈川新聞社の後援がありました。他に今回は、(株)エスエスケイ、ナガセケンコー(株)、日本シグマックス(株)、(株)ベースボール・マガジン社の協賛もありました。

大会は、試合は午前~夕方までで熱中症対策として、審判への給水は2回ごと、監督コーチが選手の状態を今まで以上に把握しようとされているのが良く分かりました。選手登録は 25 名であるが、中には 11 名のチームが 2 つあり今の競技の状況を反映しているようにも感じました。高学年に交じて低学年の児童も一生懸命取り組んでいる姿は印象に残ります。



開会式



初日第三試合



優勝旗授与

写真 3 枚のうち中央は林が、他の 2 枚はスポーツ振興課より提供を受けました。

■詳しい内容は、スポーツ振興課のホームページで確認をお願い致します。